

医ケア児・障がい児と避難

谷畑:実際の避難の際にあった問題は物理的ハードルと心理的ハードルから、家族が周りに気をつかい車中泊を選ぶケースが多く見られました。断水地域での衛生物品の洗浄、ペースト食の提供困難も問題でした。避難環境も電源の問題や、真冬の寒い体育館という問題もありました。

福祉避難所に関しては、金沢市では場所が公表されておらず、開設しているかも分かりませんでした。分かっていたら、過酷な車中泊をせずに済んだ方もいたのではないかと思います。

通信情報がメインの現代では、情報を取りに行くことに慣れていないと慣れていない人の情報格差が避難にも大きく影響するということがわかりました。**複数の情報ツールを持っておくことが重要**だと今回学びました。



医療的ケア児・障がい児家族と考える災害への備え

いしかわ医療的ケア児(以後医ケア児)・障害児家族グループ PareTTe(以後パレット)代表で、医ケア児のお子さんを
持つ谷畑さんから、能登地震を機に考える「障がい児とその家族にとっての災害と備え」についてお話しを伺いました。

元々金沢には医ケア児のグループが無い中で、初めてできたグループのパレットさん。
現在は、医ケア児や障がい児とその家族が抱える悩みを共有し解決策を見つけるための活動として、LINEやZOOMでのやり取りはもちろん、イベントなども企画されています。



地域の中での医療的ケア児や障がい児の存在

大野:地域の中や社会の中での医ケア児や障がい児の避難に直面し、感じたことはありましたか?
谷畑:まずはその地域のイベントに当たり前に参加でき、近所の方と顔見知りになっておく、避難の際に協力を得やすい関係性ができるんじゃないかと思っています。
これもハードルが高くて、主催側も医ケア児や障がい児をそのイベントの参加対象者としてとらえているかという問題があります。主催側の方はまずは対応できなくても、自分たちの近くに医ケア児や障がい児がいて、参加する可能性があるという気持ちの方が増えてほしいと思います。そのためにも、パレットなどの当事者団体が「あなたの地域にも医ケア児や障がい児がいること」を知ってもらう活動をしていきたいと思います。

医ケア児・障がい児と家族の災害への備え

大野:医ケア児や障がい児と家族にできる災害時の備えを教えてください。
谷畑:娘を連れて日常のお出かけをすることが、災害時の訓練にもなると思っています。必ず想定外のことが起るので、その対応が避難にも活かれます。娘と2人で東京に行ったときに娘の薬を忘れてしまったのですが、普段から吸引器バックに1日分の薬を入れていることで問題なく旅行を楽しむことができました。
いつもの生活からはみ出てお出かけすると、臨機応変な対応をする力が身に付きますし、困ったときに考える力の訓練にもなります。方法を1つでは無く、複数考えておくことが大事だと思います。



谷畑さんと娘さんのお出かけの様子。障がいに関わらず、様々な体験ができることを教えていただきました。
※①②③④写真、画像は谷畑さんより提供

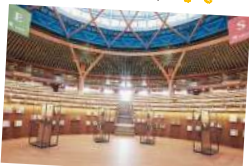
② パレットさんクリスマスイベントの様子

金沢のおススメ

谷畑さんおススメ /

岡Dr.おススメ /

SPOT



石川県立図書館

デザインがおしゃれでバリアフリー! 駐車場や障がい者用トイレも充実!
※写真は右記公式HPより引用



FOOD



和食なら 旬嘉ぶじ

北陸の和食を楽めます!



お寿司なら きく家

おいしくてポリュウム満点!



石川県での取材を終えて

日本で起こる大地震。まずは自分の身を守るための準備と知識を得ることはとても大切です。避難や復興の期間は短くありません。今回の取材レポートを活かして、障がいを持った方も、医療者も、一般の方も、助け合いを取り合いながら避難や復興に向かっていくことができる社会になってほしいと感じました。そのためにもより多くの方の心に残る内容になっていたら嬉しいです。読んでいただきありがとうございます。

ライター:看護師 大野